

建築物エネルギー消費性能確保計画に係る
省工之基準工事監理報告書記入例

平成 29 年 4 月

大阪府内建築行政連絡協議会

設備部会

－ はじめに －

平成 27 年 7 月 8 日に公布されている建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律（以下、建築物省エネ法という。）の規制措置に関する規定が、平成 29 年 4 月 1 日より施行されることに伴い、建築物省エネ法第 11 条第 1 項に規定する特定建築物等の建築主の基準適合義務は、同条第 2 項より建築基準関係規定とみなされます。すなわち、確認申請時には建築物エネルギー消費性能基準に係る適合性判定通知の交付を受けたことが確認対象となり、また完了検査時においても同基準について検査対象となります。すなわち、適合性判定図書どおりに施工されているか検査されることとなります。

ここに示す「省エネ基準工事監理報告書」は、判定時と工事監理時を比較しやすい構成になっており、施工中に起こりうる建築物省エネ法における様々な変更が、計画変更、又は建築物省エネ法第 12 条第 2 項に規定する軽微な変更のいずれに該当するか、変更の都度確認するためにも、役立つものとなります。本様式をもとに工事監理していただくことが、円滑な法運用に繋がることの一助となることを願っております。

1. 省エネ基準工事監理報告書作成の前に準備するもの

建築物エネルギー消費性能確保計画の適合性判定（以下適合性判定という。）時には次のような入力シートが添付されています。（建築物用途や設置されている設備機器により、評価されている内容が異なります。）省エネ基準工事監理報告書を作成するにはこれらの適合性判定時入力シート又はデータが必要となりますので、事前にご用意ください。

【適合性判定時入力シート一覧】

標準入力法入力シート一覧		モデル建物法入力シート一覧	
様式0	基本情報入力シート	様式A	基本情報入力シート
様式2-1	（空調）空調ゾーン入力シート	様式B-1	開口部仕様入力シート
様式2-2	（空調）外壁構成入力シート	様式B-2	断熱材仕様入力シート
様式2-3	（空調）窓仕様入力シート	様式B-3	外皮仕様入力シート
様式2-4	（空調）外皮仕様入力シート	様式C-1	空調熱源入力シート
様式2-5	（空調）熱源入力シート	様式C-2	空調外気処理入力シート
様式2-6	（空調）二次ポンプ入力シート	様式C-3	空調二次ポンプ入力シート
様式2-7	（空調）空調機入力シート	様式C-4	空調送風機入力シート
様式3-1	（換気）換気対象室入力シート	様式D	換気入力シート
様式3-2	（換気）給排気送風機入力シート	様式E	照明入力シート
様式3-3	（換気）換気代替空調機入力シート	様式F	給湯入力シート
様式4	（照明）照明入力シート	様式G	昇降機入力シート
様式5-1	（給湯）給湯対象室入力シート	様式H	太陽光発電入力シート
様式5-2	（給湯）給湯機器入力シート		
様式6	（昇降機）昇降機入力シート		
様式7-1	（効率化）太陽光発電システム入力シート		
様式7-2	（効率化）コージェネレーションシステム入力シート		
様式8	（空調）非空調外皮入力シート		

【適合性判定入力シート例（モデル建物法入力シート様式 B-1）】

様式 B-1 開口部仕様入力シート												
① 建具仕様名称 (入力)	②&③入力 又は ④入力			⑤ 建具の種類 (選択)	⑥&⑦入力 又は ⑤&⑦&⑧入力 又は ⑨&⑩入力			⑨ 熱貫流率 [W/(m ² ·K)] (入力)	⑩ 日射熱取得率 [-] (入力)	⑪ 備考 (20文字まで)		
	幅 W [m] (入力)	高さ H [m] (入力)	窓面積 [m ²] (入力)		窓（ガラス+建具）の性能						窓（ガラス+建具）の性能	
					ガラスの性能							
					ガラスの種類 (選択)	熱貫流率 [W/(m ² ·K)] (入力)	日射熱取得率 [-] (入力)					

完了検査では適合性判定時に評価されている設備機器等の計画内容と、実際の設置状況等に差異がないかを確認します。工事監理の際は適合性判定図書のとおり施工されていることを確認の上、工事を進めてください。

2. 省エネ基準工事監理報告書記入方法

省エネ基準工事監理報告書は適合性判定時の評価方法（標準入力法またはモデル建物法）、また、評価されている設備機器等により提出する様式が異なります。適合性判定時の評価方法、設置された設備機器等に応じて以下の様式を選択し、入力してください。

【省エネ基準工事監理報告書様式集（様式集表紙抜粋）】

省エネ基準に関する工事監理報告書様式集			
【標準入力法】		【モデル建物法】	
様式1	(共通) 省エネ基準工事監理報告書	様式1	(共通) 省エネ基準工事監理報告書
様式SA-1	(標準) 建築物の概要	様式MA-1	(モデル) 建築物の概要
様式SA-2	(標準) 各項目の確認結果	様式MA-2	(モデル) 各項目の確認結果
様式SB	(標準) 室仕様	様式MB-1	(モデル) 開口部仕様
様式SC-1	(標準) 空調ゾーン	様式MB-2	(モデル) 断熱仕様
様式SC-2	(標準) 外壁構成	様式MB-3	(モデル) 外皮仕様
様式SC-3	(標準) 窓仕様	様式MC-1	(モデル) 空調熱源
様式SC-4	(標準) 外皮仕様	様式MC-2	(モデル) 空調外気処理
様式SC-5	(標準) 熱源	様式MC-3	(モデル) 空調二次ポンプ
様式SC-6	(標準) 二次ポンプ	様式MC-4	(モデル) 空調送風機
様式SC-7	(標準) 空調機	様式MD	(モデル) 換気
様式SD-1	(標準) 換気対象室	様式ME	(モデル) 照明
様式SD-2	(標準) 給排気送風機	様式MF	(モデル) 給湯
様式SD-3	(標準) 換気代替空調機	様式MG	(モデル) 昇降機
様式SE	(標準) 照明	様式MH	(モデル) 太陽光発電
様式SF-1	(標準) 給湯対象室		
様式SF-2	(標準) 給湯機器		
様式SG	(標準) 昇降機		
様式SH-1	(標準) 太陽光発電システム		
様式SH-2	(標準) コージェネレーションシステム		
様式SI	(標準) 非空調外皮仕様		

- 2 いずれの評価方法においても、様式1（共通）は提出してください。
- 2 設置されていない設備に関する様式は提出不要です。適合性判定図書、施工状況を確認の上、選択ください。（適合性判定図書と施工状況が異なる場合は建築物省エネ法における計画変更、または軽微な変更の可能性がありますので、所管行政庁または登録建築物エネルギー消費性能適合性判定機関にご相談ください。）

次頁よりそれぞれの様式の記入例を示します。

n 様式1 (共通)【標準入力法・モデル建物法共通】

<p>様式1 (共通)</p> <h2 style="text-align: center;">省エネ基準工事監理報告書</h2> <div style="border: 1px solid red; padding: 2px; margin: 10px 0;"> <p>建築主事又は指定確認検査機関名を記入</p> <p style="margin-left: 20px;">○○○様</p> </div> <div style="text-align: right; margin-right: 100px;"> <p>平成 29年 △月 □日</p> <div style="border: 1px solid red; padding: 2px; display: inline-block;"> <p>報告日 (工事完了日以降の日付) を記入</p> </div> </div> <p>工事の監理状況を報告します。 この監理報告書及び提出書類に記載の事項は、事実と相違ありません。</p>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th colspan="5">経 過</th> </tr> <tr> <th style="width: 15%;">受領日</th> <th style="width: 15%;">検査日</th> <th style="width: 15%;">処理日</th> <th style="width: 15%;"></th> <th style="width: 15%;">担 当</th> </tr> <tr> <td style="height: 40px;"></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	経 過					受領日	検査日	処理日		担 当					
経 過																
受領日	検査日	処理日		担 当												
<p>工 事 監 理 者 (一級) 建築士 (大臣) 登録第○○○○号 資 格 氏 名 建省 太郎 確認申請書に記載された工事監理者を記入。 (印) 建 築 士 事 務 所 名 (一級) 建築士事務所 (大阪) 登録第△△△△号 TEL 06-0000-0000</p>																
<p>建築士法に基づき意見を聴いた場合は記入。省エネ基準に係る設計や工事監理にあたり、適宜、建築設備士の意見を聴くことが望ましいため、建築士法で規定する規模にかからない建築物であっても意見を聴いた場合は記入</p>																
<p>省エネ基準に関し 建築設備士 () 登録第 号 意 見 を 聴 いた 者 (印) の 氏 名 ・ 勤 務 先 名 () 登録第 号 TEL</p>																
<p>建 築 工 事 施 工 者 () 建設業の許可 (大臣・知事) 第 号 登 録 氏 名 確認申請書に記載されている工事施工者を記入。施工者について、別の工事監理報告書にて施工者が押印されている場合は押印省略 (印)</p> <p>設 備 工 事 施 工 者 () 建設業の許可 (大臣・知事) 第 号 (印) 登 録 業 種 氏 名 () 建設業の許可 (大臣・知事) 第 号 (印) () 建設業の許可 (大臣・知事) 第 号 (印) () 建設業の許可 (大臣・知事) 第 号 (印)</p> <div style="border: 1px solid red; padding: 2px; margin: 5px auto; width: 200px;"> <p>設備工事施工者がある場合は記入</p> </div>																
<p>概 要</p>																
<p>建 築 主 氏 名</p>	<p>確認済証の情報を転記。計画変更が複数回にわたる場合は完了検査直近の番号を記入 建築 省子</p>															
<p>敷 地 の 地 名 地 番</p>	<p>大阪府○○市△△・・・</p>															
<p>確 認 年 月 日 ・ 番 号</p>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;"> <p>平成 29年 ●月 ●日 第H29●△□000・・・号</p> </td> <td style="width: 50%;"> <p>計 画 変 更 確 認 平成 年 月 日 年 月 日 ・ 番 号 第 号</p> </td> </tr> </table>	<p>平成 29年 ●月 ●日 第H29●△□000・・・号</p>	<p>計 画 変 更 確 認 平成 年 月 日 年 月 日 ・ 番 号 第 号</p>													
<p>平成 29年 ●月 ●日 第H29●△□000・・・号</p>	<p>計 画 変 更 確 認 平成 年 月 日 年 月 日 ・ 番 号 第 号</p>															
<p>敷地内の判定又は認定の対象となった建築物の棟数</p>	<p>3棟 (内: 標準入力法 1棟、モデル建物法 2棟、その他 棟)</p>															
<p>注) 計画変更の年月日・番号は最新のものを記載すること。</p> <div style="border: 1px solid red; padding: 5px; color: red; margin-top: 10px;"> <p>申請棟数のうち、適合性判定の対象となった建築物の棟数を記入し、内訳を評価方法ごとに棟数を記入。(その他は左記の評価方法によらない(大臣認定等)建築物の棟数を記入)</p> </div>																

n 建築物の概要

【様式SA-1(標準) 記入例】 → 適合性判定に係る建築物ごとに作成

様式SA-1(標準) 建築物の概要			
建築物の名称			
工事種別	<input type="checkbox"/> 新築 <input type="checkbox"/> 増築 <input type="checkbox"/> 改築 建築確認申請書第四面の記載事項を転記。	確認申請書第四面 【1.番号】	
用途	用途は建築基準法施行規則別表用途区分で記入 (例:08620 病院)		
判定又は認定の種類及び年月日・番号 <small>※計画の変更定等がある場合に最新の年月日・番号を記載してください。</small>	<input type="checkbox"/>	建築物エネルギー消費性能確保計画の判定	平成第 年 月 日号
	<input type="checkbox"/>	建築物エネルギー性能向上計画の認定	平成第 年 月 日号
	<input type="checkbox"/>	低炭素建築物新築等計画の認定	平成第 年 月 日号
軽微な変更 <small>※変更がある場合は、「建築物エネルギー消費性能確保計画に係る軽微な変更説明書」を添付してください。</small>	有・無	<input type="checkbox"/> A 省エネ性能が向上する変更 ←軽微な変更がある場合はいずれかのルートを選択 <input type="checkbox"/> B 一定範囲内の省エネ性能が減少する変更 <input type="checkbox"/> C 再計算によって基準適合が明らかな変更 (計画の技術的な変更を除く)	
判定又は認定の対象となった建築物の設備等	<input type="checkbox"/> 外気	<input type="checkbox"/> 給湯設備	
	<input type="checkbox"/> 空気調和設備	<input type="checkbox"/> 昇降機設備	
	<input type="checkbox"/> 機械換気設備	<input type="checkbox"/> 太陽光発電設備	
	<input type="checkbox"/> 照度設備	<input type="checkbox"/> コーポレーションシステム	
	<input type="checkbox"/> その他 ()		
この様式で示す建築物の適合性判定において評価された項目をすべて選択			
① 省エネルギー基準地域区分	大阪府内 5又は6地域 (基準省令別表10参考)		
② 構造	適合性判定時入カシート様式 0 の基本情報を転記。 延べ面積については、適合性判定にかかった非住宅部分の面積も記入		
③ 建築面積 m ²			
④ 延べ面積 m ²	広場部分	5000m ² (内非住宅部分3200m ²)	既存部分 (内非住宅部分300m ²)
⑤ 計算対象部分の階数	地上		地下
※判定時の情報を入力してください。			

【様式 MA-1 (モデル) 記入例】 → **適合性判定に係る建築物ごとに作成**

様式MA-1 (モデル) 建築物の概要			
建築物の名称			
工事種別	<input type="checkbox"/> 新築 <input type="checkbox"/> 増築 <input type="checkbox"/> 改築	確認申請書第四面 【1. 番号】	
判定又は認定の種別及び年月日・番号 <small>※計画変更判定等がある場合は最新の年月日・番号を記載してください。</small>	<input type="checkbox"/> 建築物エネルギー消費性能確保計画の判定	平成第 年 月 日号	
	<input type="checkbox"/> 建築物エネルギー性能向上計画の認定	平成第 年 月 日号	
様式SA-1 (標準) の記入例と同様に記入			
軽微な変更 <small>※変更がある場合は、「建築物エネルギー消費性能確保計画に係る軽微な変更説明書」を添付してください。</small>	有・無	<input type="checkbox"/> A 省エネ性能が向上する変更 <input type="checkbox"/> B 一定範囲内の省エネ性能が減少する変更 <input type="checkbox"/> C 再計算によって基準適合が明らかな変更 (計画の抜本的な変更を除く)	
判定又は認定の対象となった建築物の構造又は設備等	<input type="checkbox"/> 外皮	<input type="checkbox"/> 給湯設備	
	<input type="checkbox"/> 空気調和設備	<input type="checkbox"/> 昇降機設備	
	<input type="checkbox"/> 機械換気設備	<input type="checkbox"/> 太陽光発電設備	
	<input type="checkbox"/> 照明設備	<input type="checkbox"/> その他 ()	
① 省エネルギー基準地域区分*			
② 年間日射地域区分**			
③ 延べ面積 [㎡]	申請部分	既存部分 <small>増改築の場合</small>	
④ 建築基準法施行規則別記様式に定める用途	記号		
	用途の区分		
⑤ モデル建物法で適用する建物モデルの種類*	建物用途		
	室用途 (集会所等の場合のみ)		
⑥ 計算対象部分の床面積 [㎡]*	適合性判定時入力シート様式Aの記載内容転記		
⑦ 計算対象部分の空調対象床面積 [㎡]*			
⑧ 計算対象部分の階数*	地上		地下
⑨ 計算対象部分の階高の合計 [m]*			
⑩ 計算対象部分の外周長さ [m]*			
⑪ 計算対象部分の非空調コア部*	方位		長さ [m]

* はモデル建物法による評価のために必ず記入が必要となる項目
** は太陽光発電を評価する際のみ必須となる項目

n 各項目の確認結果

【様式 SA-2 (標準)】・【様式 MA-2 (モデル)】記入例

本様式は施工状況が適合性判定図書と整合しているかを確認する様式です。評価されている設備に関して、施工内容を確認し、結果を記入してください。(確認・記入の際には以下の点に注意してください。)

- ① 整合する図書は完了検査直近の適合性判定図書であること
- ② 評価対象の設備を選択し記入すること
- ③ 「照合を行った設計図書」の欄は、適合性判定図書のうち、工事監理で照合を行った図書を記入すること。
- ④ 「確認方法」は、A：目視による立会確認 B：計測等による立会確認 C：施工計画書等・試験成績書等による確認 を表し、項目ごとにいずれかの方法で確認の上、記入のこと。

【様式 SA-2 (標準) 記入例】

様式 SA-2 (標準) 各項目の確認結果				
項目	報告事項	照合を行った設計図書	確認方法	確認結果
1. 外皮	① 外壁等構成している建材の仕様、設置状況	平面図 断面詳細図 仕上表	①・①・① ・施工計画書 ・試験成績書	適・不適
	② 窓の仕様、設置状況 (ブラインドボックス、庇の設置状況を含む)	平面図 建具表	①・①・① ・納入伝票 ・ガラスワッパル	適・不適
2. 空気調和設備	① 熱源機器の仕様、設置状況	機器設置図 機器表	①・①・① ・ ・	適・不適
	② 冷暖同時供給の有無	-	A・B・C ・ ・	適・不適
	③ 熱源機器に係る台数制御の状況	-	A・B・C ・ ・	適・不適
	④ 蓄熱システムの仕様、設置状況	-	A・B・C ・ ・	適・不適
	⑤ 2次ポンプの仕様 (流量制御方式を含む)、設置状況	-	A・B・C ・ ・	適・不適
	⑥ 2次ポンプの変流量制御の状況	-	A・B・C ・ ・	適・不適
	⑦ 2次ポンプに係る台数制御の状況	-	A・B・C ・ ・	適・不適
	⑧ 空調機の仕様、設置状況	機器設置図 機器表	①・①・① ・ ・	適・不適
	⑨ 空調機ファンの変流量制御の状況	-	A・B・C ・ ・	適・不適
	⑩ 予熱時外気取入れ停止制御の状況	-	A・B・C ・ ・	適・不適
	⑪ 外気冷房制御の有無	-	A・B・C ・ ・	適・不適
3. 機械換気設備	① 機械換気設備 (換気代替空調機を含む) の仕様、設置状況	機器設置図 機器表	①・①・① ・ ・	適・不適
	② 機械換気設備に係る各種制御 (換気代替空調機を含む) の状況	-	A・B・C ・ ・	適・不適
	③ 全熱交換器の仕様、設置状況	機器設置図 機器表	①・①・① ・ ・	適・不適
4. 照明設備	① 照明器具の仕様、設置状況	機器設置図 機器表	①・①・① ・ ・	適・不適
	② 各種制御の状況 【在宅検知制御・ナイトジョーナル制御・初期照度補正制御・明るさ検知制御】	機器設置図 機器表	①・①・① ・ ・	適・不適
5. 給湯設備	① 熱源機器の仕様、設置状況	機器設置図 機器表	①・①・① ・ ・	適・不適
	② 給湯配管 (バルブ・フランジを含む) の保温の仕様、設置状況	機器設置図 特記仕様書	①・①・① ・施工計画書	適・不適
	③ 節湯器具の仕様、設置状況	機器表	①・①・① ・ ・	適・不適
	④ 太陽熱利用設備の仕様、設置状況	-	A・B・C ・ ・	適・不適
6. 昇降機設備	昇降機の仕様、設置状況	機器設置図 特記仕様書	①・①・① ・ ・	適・不適
7. 太陽光発電設備	① 太陽光発電設備の仕様、設置状況	-	A・B・C ・ ・	適・不適
	② パワーコンディショナの仕様、設置状況	-	A・B・C ・ ・	適・不適
8. コージェネレーションシステム	コージェネレーションシステムの仕様、設置状況	-	A・B・C ・ ・	適・不適

【注意】

1. 本様式は、「標準入力法」により建築物エネルギー消費性能基準への適合性を確認した建築物に係る工事監理を対象としています。
2. 計算対象となる設備等が無い場合は、当該設備等に係る項目の記載は不要です。
3. 「照合を行った設計図書」の欄は、建築物省エネ法施行規則第1条第1項に規定する図書等のうち、工事監理で照合を行った図書を記載してください。
4. 「確認方法」の欄は、A・B・Cのうち、該当するものを○で囲んでください。Cに該当する場合は、確認に用いた具体的な書類を記載してください。

A: 目視による立会確認 B: 計測等による立会確認 C: 施工計画書等・試験成績書等による確認

前述のとおり適合性判定図書との照合を行うほか、適合性判定時の入力シートを確認することで、評価対象の設備種別等が確認できます。各項目における適合性判定時入力シートとの対照は以下のとおりです。

【様式SA-2（標準）各項目における対照表】

様式SA-2（標準） 各項目の確認結果					
項目	報告事項	照合を行った設計図書	確認方法	確認結果	判定時入力シート
1. 外皮	① 外壁等を構成している建材の仕様、設置状況		A・B・C	適・不適	様式2-2
	② 窓の仕様、設置状況（ブラインドボックス、庇の設置状況を含む）		A・B・C	適・不適	様式2-3 様式2-4
2. 空調設備	① 熱源機器の仕様、設置状況		A・B・C	適・不適	様式2-5
	② 冷暖同時供給の有無		A・B・C	適・不適	様式2-5
	③ 熱源機器に係る台数制御の状況		A・B・C	適・不適	様式2-5
	④ 蓄熱システムの仕様、設置状況		A・B・C	適・不適	様式2-5
	⑤ 2次ポンプの仕様（流量制御方式を含む）、設置状況		A・B・C	適・不適	様式2-6
	⑥ 2次ポンプの変流量制御の状況		A・B・C	適・不適	様式2-6
	⑦ 2次ポンプに係る台数制御の状況		A・B・C	適・不適	様式2-6
	⑧ 空調機の仕様、設置状況		A・B・C	適・不適	様式1 様式2-1 様式2-7
	⑨ 空調機ファンの変風量制御の状況		A・B・C	適・不適	様式2-7
	⑩ 予熱時外気取入れ停止制御の状況		A・B・C	適・不適	様式2-7
	⑪ 外気冷房制御の有無		A・B・C	適・不適	様式2-7
	⑫ 全熱交換器の仕様、設置状況		A・B・C	適・不適	様式2-7
	⑬ 全熱交換器のバイパス制御の状況		A・B・C	適・不適	様式2-7
3. 機械換気設備	① 機械換気設備（換気代替空調機を含む）の仕様、設置状況		A・B・C	適・不適	様式1 様式3-1
	② 機械換気設備に係る各種制御（換気代替空調機を含む）の状況		A・B・C	適・不適	様式3-2 様式3-3
4. 照明設備	① 照明器具の仕様、設置状況		A・B・C	適・不適	様式1 様式4
	② 各種制御の状況 【在室検知制御・タイムスケジュール制御・初期照度補正制御・明るさ検知制御】		A・B・C	適・不適	様式4
5. 給湯設備	① 熱源機器の仕様、設置状況		A・B・C	適・不適	様式1 様式5-1
	② 給湯配管（バルブ・フランジを含む）の保温の仕様、設置状況		A・B・C	適・不適	様式5-2
	③ 節湯器具の仕様、設置状況		A・B・C	適・不適	様式5-1
	④ 太陽熱利用設備の仕様、設置状況		A・B・C	適・不適	様式5-2
6. 昇降機設備	昇降機の仕様、設置状況		A・B・C	適・不適	様式6
7. 太陽光発電設備	① 太陽光発電設備の仕様、設置状況		A・B・C	適・不適	様式7-1
	② パワーコンディショナの仕様、設置状況		A・B・C	適・不適	様式7-1
8. コージェネレーションシステム	コージェネレーションシステムの仕様、設置状況		A・B・C	適・不適	様式7-2
<p>【注意】</p> <p>1. 計算対象となる設備等が無い場合は、当該設備等に係る項目の記載は不要です。</p> <p>2. 「照合を行った設計図書」の欄は、建築物省エネ法施行規則第1条第1項に規定する図書等のうち、工事監理で照合を行った図書を記載してください。</p> <p>3. 「確認方法」の欄は、A・B・Cのうち、該当するものを○で囲んでください。Cに該当する場合は、確認に用いた具体的な書類を記載してください。</p> <p style="text-align: center;">A: 目視による立会確認 B: 計測等による立会確認 C: 施工計画書等・試験成績書等による確認</p>					

【様式MA-2（モデル）各項目における対照表】

様式MA-2（モデル）各項目の確認結果					
項 目	報 告 事 項	照合を行った 設計図書	確認方法	確認結果	判定時 入力シート
1. 外皮	① 断熱材の仕様、設置状況		A・B・C ・ ・	適・不適	様式B-2
	② 窓の仕様、設置状況（ブラインドボックス、庇の設置状況を含む）		A・B・C ・ ・	適・不適	様式B-1 様式B-3
2. 空調設備	① 熱源機器の仕様、設置状況		A・B・C ・ ・	適・不適	様式C-1
	② 全熱交換器の仕様、設置状況		A・B・C ・ ・	適・不適	様式C-2
	③ 全熱交換器のバイパス制御の状況		A・B・C ・ ・	適・不適	様式C-2
	④ 予熱時外気取入れ停止制御の状況		A・B・C ・ ・	適・不適	様式C-2
	⑤ 2次ポンプの変流量制御の状況		A・B・C ・ ・	適・不適	様式C-3
	⑥ 空調機ファンの変風量制御の状況		A・B・C ・ ・	適・不適	様式C-4
3. 機械換気設備	① 機械換気設備の仕様、設置状況		A・B・C ・ ・	適・不適	様式D
	② 送風量制御の状況		A・B・C ・ ・	適・不適	様式D
4. 照明設備	① 照明器具の仕様、設置状況		A・B・C ・ ・	適・不適	様式E
	② 各種制御の設置状況 【在室検知制御・タイムスケジュール制御・初期照度補正制御・明るさ検知制御】		A・B・C ・ ・	適・不適	様式E
5. 給湯設備	① 熱源機器の仕様、設置状況		A・B・C ・ ・	適・不適	様式F
	② 給湯配管（バルブ・フランジを含む）の保温の仕様、設置状況		A・B・C ・ ・	適・不適	様式F
	③ 節湯器具の仕様、設置状況		A・B・C ・ ・	適・不適	様式F
6. 昇降機設備	昇降機の仕様、設置状況		A・B・C ・ ・	適・不適	様式G
7. 太陽光発電設備	太陽光発電設備の仕様、設置状況		A・B・C ・ ・	適・不適	様式H

注)

- 本様式は、「モデル建物法」により建築物エネルギー消費性能基準への適合性を確認した建築物に係る工事監理を対象としています。
- 計算対象となる設備等が無い場合は、当該設備等に係る項目の記載は不要です。
- 「照合を行った設計図書」の欄は、建築物省エネ法施行規則第1条第1項に規定する図書等のうち、工事監理で照合を行った図書を記載してください。
- 「確認方法」の欄は、A・B・Cのうち、該当するものを○で囲んでください。Cに該当する場合は、確認に用いた具体的な書類を記載してください。
A: 目視による立会確認 B: 計測等による立会確認 C: 施工計画書等・試験成績書等による確認

n 各設備機器等について【様式SB（標準）空仕様・様式MB-1（モデル）以降】

様式SB（標準）・様式MB-1（モデル）以降は外皮や各設備機器について確認するものです。適合性判定時入力シートと施工状況の照合を行うため、以下の要領で工事監理報告書を作成してください。



【例：様式MC-1（モデル）空調熱源 入力要領】

判定時の部分には、完了検査直前の判定で添付された入力シートの内容を転記します。（入力データのコピーアンドペーストも可） その入力内容に対応するように、工事監理時の部分には実際の施工状況を入力します。これにより適合性判定時と施工状況の照合を行います。変更があった部分に関しては、軽微変更説明書等により、軽微な変更該当していることも確認します。その他の様式についても同様に入力してください。

判定時の入力シートと省エネ基準工事監理報告書様式は以下のとおり対照しています。

標準入力法	
判定時入力シート	工事監理報告書様式
様式1	様式SB（標準）
様式2-1	様式SC-1（標準）
様式2-2	様式SC-2（標準）
様式2-3	様式SC-3（標準）
様式2-4	様式SC-4（標準）
様式2-5	様式SC-5（標準）
様式2-6	様式SC-6（標準）
様式2-7	様式SC-7（標準）
様式3-1	様式SD-1（標準）
様式3-2	様式SD-2（標準）
様式3-3	様式SD-3（標準）
様式4	様式SE（標準）
様式5-1	様式SF-1（標準）
様式5-2	様式SF-2（標準）
様式6	様式SG（標準）
様式7-1	様式SH-1（標準）
様式7-2	様式SH-2（標準）
様式8	様式SI（標準）

モデル建物法	
判定時入力シート	工事監理報告書様式
様式B-1	様式MB-1（モデル）
様式B-2	様式MB-2（モデル）
様式B-3	様式MB-3（モデル）
様式C-1	様式MC-1（モデル）
様式C-2	様式MC-2（モデル）
様式C-3	様式MC-3（モデル）
様式C-4	様式MC-4（モデル）
様式D	様式MD（モデル）
様式E	様式ME（モデル）
様式F	様式MF（モデル）
様式G	様式MG（モデル）
様式H	様式MH（モデル）

3. モデルケース記入例

各評価方法で評価されたモデル建築物の省エネ基準工事監理報告書記入例を別紙で示します。
(設備部分のみ。共通様式、A様式は本記入例をご参照ください。) 建物の概要は以下のとおりです。

【モデル建物法における工事監理報告書】

n 建物概要

建物名称	省エネホテル新築工事
建築物所在地	大阪府〇〇市
地域区分	6地域
階数	地上 11 階
計算対象床面積	7004.21 m ²
空調対象面積	6548.47 m ²
建築物用途	8440 ホテル
モデル用途	ビジネスホテルモデル